

北海道に夜間中学をつくる会

## 2012 年度第 9 回事務局会議まとめ

札幌市男女参画センターエルプラザ 2 階会議コーナー

出席者（敬称略）：工藤代表、泉事務局長、飯塚、遠藤、  
工藤（朱）、白倉、篠原、船木、森川

### 議題

1. 札幌市教委との窓口交渉（2月26日）の報告と今後について
2. 2013 年度北海道自主夜間中学交流会の準備
3. 2013 年度「北海道に夜間中学をつくる会」総会に向けて
4. 「意見書」の道内選出国會議員に向けての告知の状況
5. その他

### 話し合い

1. について

交渉事項 4 点

- ① 8 / 3（土）北海道自主夜間中学交流会実施にあたっての向  
陵中学校教室利用の申し出で

夏休み学校工事（教室増築）のため、利用できない。遠友塾  
から直接学校に要請をだしたことは、校長から連絡があった。  
市教委についても、工事に入ることは承知していたが、いつか  
らかは掌握していなかった。学校が貸すことができないといっ  
ているので、市教委としても同じ返答になるが、この種の要請

は、まず市教委を通じて行なってもらいたい。

市教委から、三者協議は向陵中学校「行政財産使用」にあたって行なうもので、何に関しても三者協議で話し合うというものでない、といわれております。

②札幌遠友塾卒業生の札幌市立小・中学校への入学希望について（小学校1年・国語授業の希望）

この担当は、学校教育部の扱いのため、そことおよび通学区校長との調整になる。遠友塾3年チーフの富田さんを通じて具体的な内容の検討に入る。

③向陵中学校にエレベーターを設置してもらいたい

学校に設置する基準について、札幌市の基準を調べ知らせてくれる。あわせて、障がいをもった者の札幌市採用枠はどのようになっているか、についても質問しました。（遠友塾のスタッフ希望に、今年度4月、障がいを持つ札幌市職員採用予定者の問い合わせがあった）

④市議会「意見書」についての見解を求めた

市教委としては、立法化された方が、さまざまな取り組みが行ないやすい、と判断される。

## 2. について

第1回実行委員会の立ち上げ、5月25日（土）午前11時より。

北海道生涯学習センターかでの 2・7

実行委員長遠藤札幌遠友塾代表名で呼びかけ文章を道内自主夜間中学に出す。

札幌遠友塾の授業交流でもあり、出来る限り多くの受講生が参加できるような費用支援を考える。

### 3. について

総会に先立つ行事

講演会： 見城慶和氏「夜間中学校で目指す国語（ことば）の力」

講演 午後 1 時 30 分～ 2 時 30 分

講演質疑 30 分

休憩 15 分

総会 午後 3 時 15 分～ 4 時

総会準備： 4 月 11 日（木）議案書作成の役割分担

4 月末に決算および会計監査

5 月 9 日（木）午後 4 時議案書発送作業

### 4. について

全夜中研ニュース（2013/02/26）

①法的整備の取り組みについて

地方議会からの意見書

②国会議員への働きかけ

公明党文部科学部会関係者との懇談会（3月14日）

自民党（馳議員）・民主党（鈴木議員）との懇談（3月14日）

③議員立法に向けたプロセスについて検討する

④横路孝弘議員との話し合い（3月2日）

- ・昨年8月3日国会院内集会に向けた「法案」について、これでは公立夜間中学の開設が弱い—特区制度で開設できないか。
- ・自主夜間中学においても授業科目や時間など増やし、有効な卒業証書をだすことの要望があっても良い。
- ・国会内で立法化に向けた動きがどのようになっているか調べてみる。

道議会・札幌市議会で採択された「意見書」については、道内選出国會議員（昨年衆議院選挙落選議員も含む）に速やかに発送する。

5. について

次回事務局会議： 4月11日（木）発送作業終了次第

札幌市男児共同参画センターエルプラザ2階